



H4-CA-203-R00

浜岡原子力発電所

敷地の地質・地質構造の補足説明

2021年3月11日

2月9日新聞記事（市民団体による規制委員会に要請について）

- 「浜岡原発の再稼働を許さない静岡県ネットワーク」が、規制委員会に対して、H断層系について質問・要請書を提出する旨の報道がなされている。
- ネット上で公開されている「浜岡原発の敷地および周辺の断層に関する質問と要請」の「5.」には、BF2トレンチ（注）の近くに笠名礫層の途中まで達している露頭（別掲資料参照）があるとされている。

（注）BF2地点では、トレンチではなく、はざとり露頭による観察を行っている。

原子力規制委員会 更田豊志 様

浜岡原発の敷地および周辺の断層に関する質問と要請

浜岡原発の再稼働を許さない静岡県ネットワーク

2020年7月3日に行われた「原子力発電所の新規規制基準適合性に係る審査会合第871回において、貴委員会から重要な指摘がありました。以下の点について確認および資料の提供をお願い申し上げます。

5. BF2 トレンチの約40m南側に、相良層の上に笠名礫層が載り、相良層を切った断層が笠名礫層の途中まで達している露頭（別掲資料参照）があります。この断層は約8万年前の笠名礫層堆積中に生じ、その後さらに笠名礫層が堆積を続けたことを示すもので、活断層と行うことができると考えます。東西方向の正断層で西側が40～50cmほど下がっています。この断層をどのように評価していますか。H断層系との関連を含めご説明下さい。

（出典）

<http://blog.livedoor.jp/shiminkikugawa/2021.02.09%E3%80%80%E5%8E%9F%E5%AD%90%E5%8A%9B%E8%A6%8F%E5%88%B6%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A%E3%81%B8%E3%81%AE%E8%B3%AA%E5%95%8F%E3%81%A8%E8%A6%81%E8%AB%8B%E6%9B%B8%EF%BC%88%E7%A2%BA%E5%AE%9A%EF%BC%89PDF.pdf>

BF2地点におけるはぎとり露頭観察結果 (1/2)

- 当該断層については、別掲資料参照となっているため、特定できていないが、2月7日に行われた立石新潟大学名誉教授講演会において、BF2地点付近で市民団体が見つけたとする活断層が紹介されており、この断層を指摘しているものと思われる。
- 当社は、当該断層付近において、表土をはぎとり露頭観察を実施しており、その結果、はぎとり範囲にはH断層系と同じ特徴（※）を持つ断層は確認されなかった。同露頭において、小断層が確認されたが、この小断層は、礫層（笠名礫層（MIS5c）相当）基底面に変位を与えていないことを確認している。なお、市民団体が断層と指摘する位置の相良層中の泥岩にはへき開が発達するものの、地層は連続しており、断層は確認されなかった。
※周辺母岩に流動的な変形構造を伴う、2条の断層面を伴う等。



BF2地点における露頭観察の写真



左写真赤枠部の拡大写真

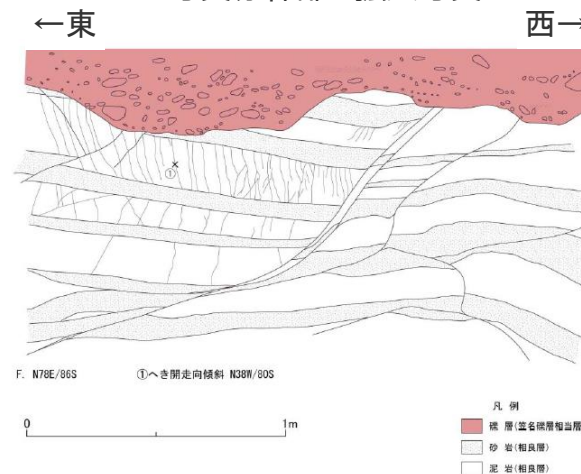
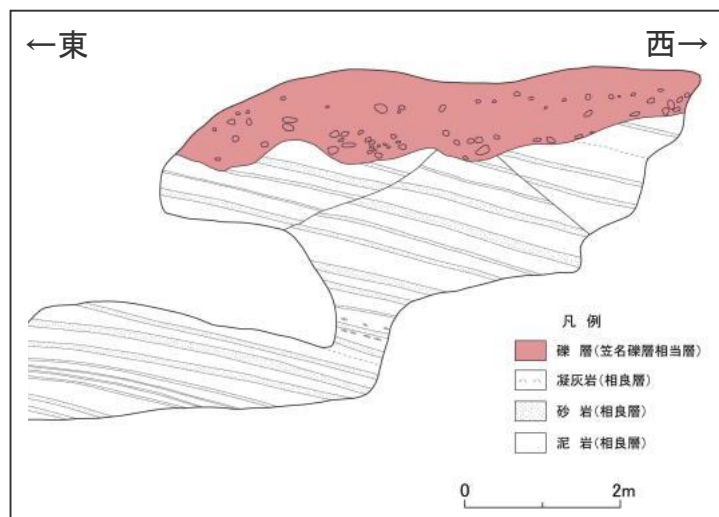


BF2地点位置

BF2地点におけるはぎとり露頭観察結果 (2/2)



左写真赤枠部の拡大写真



..... : はぎとり露頭観察より確認された小断層

以下、参考資料

立石新潟大学名誉教授講演会（2021年2月7日）において紹介された市民団体が見つけたとする活断層



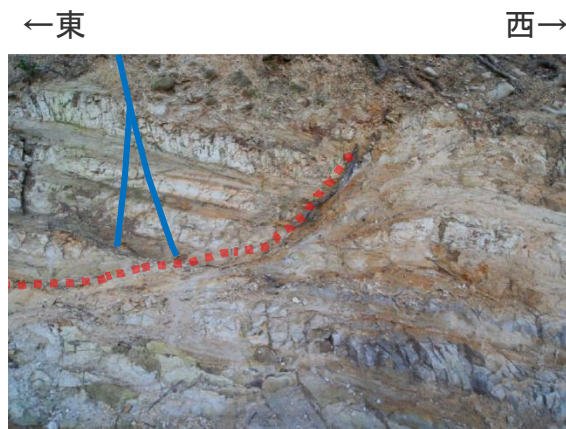
注) 市民団体が断層と指摘する位置と思われるBF2地点の写真

立石新潟大学名誉教授講演会（2021年2月7日）において紹介された市民団体が見つけたとする活断層

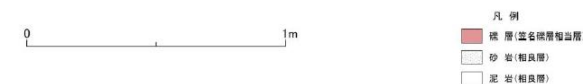
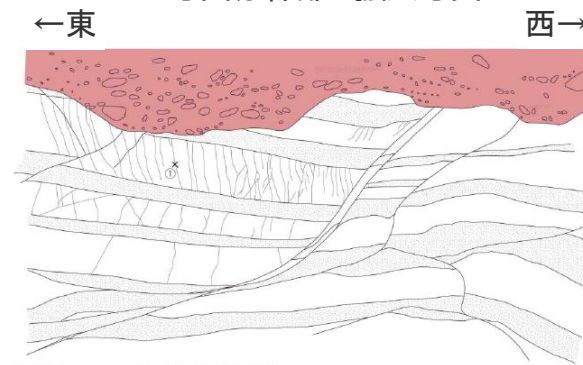
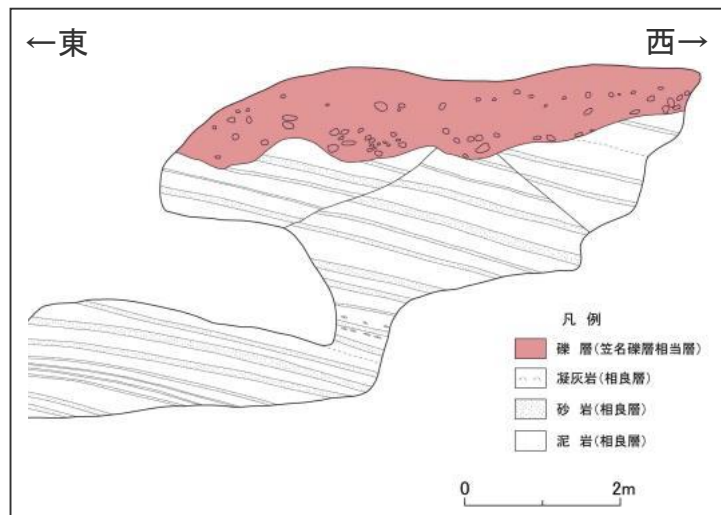


注) 当社が撮影したBF2地点の写真に、市民団体が指摘する断層位置を記載

BF2地点におけるはぎとり露頭観察結果



左写真赤枠部の拡大写真



- : はぎとり露頭観察より確認された小断層
- : 市民団体が断層と指摘する位置